ypecICT 通信【令和 7 年 5 月号（第 11 号)】　2025/5/30
山梨県総合教育センターICT 教育支援センター通信

【今月の目次】
1.情報セキュリティに関する研修について
2.ICT 活用ワンポイント講座（画像からテキストを抜き出す！google レンズ＆snipping tool）
3.コラム「URL をみれば詐欺サイトは見分けられる？」

■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□

1. 情報セキュリティに関する研修について

PC は、校務や授業など、学習活動において不可欠なツールです。しかし、ツールに係るセキュリティに関する問題は後を絶ちません。県立学校のハイユースネットワークではクラウドサービス下において情報資産を守ることから、ゼロトラスト（※）の考え方でセキュリティを強化しています。セキュリティは強化されていますが、一人一人の情報セキュリティに関する意識が重要であることは言うまでもありません。ここでは 4 月中旬に総合教育センターで開催された「新期間採用教諭研修会」で紹介した、学校における情報セキュリティの重要性についてお伝えします。

学校では、生徒名簿、成績データ、健康調査票など重要な個人情報を扱います。これまでに個人データが入った USB メモリーの紛失や、PC の画面をロックしないまま離席し、生徒の情報がほかの生徒に見られるなどの事案が起きています。言うまでもなく、このことは個人情報の不適切な管理であり、情報漏えいにつながる事案です。

情報漏えいは、「紛失」や「盗難」以外にも、web での不正アクセス、PC の誤操作、メールの誤送信などもその原因となります。文部科学省が公開している「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」は情報を扱う上での指針となりますので是非、目を通していただきたいと思います。ここまでは不適切な管理や操作等による情報漏えいについて述べてきましたが、データの保存先についても注意が必要です。教職員が公務を行うときには、教育委員会の用意したシステム内でデータを管理し、個人の端末に業務データ、特に生徒等の個人情報を保存しないでください。

繰り返しになりますが、学校の適切な情報セキュリティを進めるためには、一人一人の意識が不可欠です。日々の業務の中で情報管理のルールを徹底し、生徒や保護者の大切なデータを適切に扱うことで、安全な教育環境を築いていきましょう。ICT 教育支援センターでは、情報セキュリティに関する研修として、8 月 8 日（金）の午前に「621 情報セキュリティ・ネットトラブル対応研修会」 を設定しております。関心のある方の受講をお勧めします。

(※ゼロトラストとは、「誰も最初から信用しない」という近年世界的に普及しているセキュリティの考え方です。詳しくは、【バックナンバー】ypecICT 通信第 5 号（令和 6 年 10 月号）のコラムを参照)

■□

2. ICT 活用ワンポイント講座(画像からテキストを抜き出す！google レンズ＆snipping tool)

ネット上の記事からテキストをコピーしたい場面はありませんか？

文書として掲載されているテキストであれば、選択後に「テキストのみ貼り付け」を行うことで、作成したい文書のフォントやサイズに合わせて貼り付けることができます。

しかし、画像に含まれるテキストはこの方法ではコピーできません。そこで、画像内の文字を抜き出す 2 つの方法をご紹介します。

①Snipping Tool を使用する（Windows）

Windows キー ＋Shift キー ＋S を押して、コピーしたい画像の範囲を選択

画面右下の「Snipping Tool」通知をクリック

Snipping Tool アプリが開いたら、画面上部にある「テキストアクション」を選択

「すべてのテキストをコピーする」をクリックし、貼り付け

②Google レンズを使用する（Google Chrome）

Google Chrome で画像を開く

画像上で右クリックし、「Google レンズで検索」を選択

「テキストを選択」オプションをクリック

必要なテキストをコピーし、貼り付け

いかがでしょうか？この方法を使えば、画像内のテキストも簡単にコピーでき、資料作成や情報整理がスムーズになります。ぜひ活用して、作業効率をアップさせましょう！

■□

3.コラム「URL をみれば詐欺サイトは見分けられる？」

Web サイトには様々な広告が埋め込まれています。できることなら、おかしな広告は避けて通りたいところです。「URL を見れば大体見当がつきそう」という方もいます。たとえば「https://www.ypec.ed.jp」は総合教育センターの公式 HP の URL です。

怪しい HP やメールのリンクは「https://www.ypec.ed.jp」と表示されていても、リンクにカーソルを合わせると全く違う URL（http://XYZ.cn など）が表示されますので、この場合は「おかしい」と思いますね。

では、次の（ア）～（エ）のうち、正しいページにリンクしている URL はどれでしょうか。

（ア）山梨県総合教育センターリンク集　https://www.ypec.ed.jp/?page_id=1375

（イ）山梨県総合教育センター研修のご案内　https://www.ypec.ed.jp@202.238.130.103

（ウ）山梨県総合教育研修マイページ　　https://10.226.1.101/?page_id=80

（エ）財務省（Ministry of Finance）ホームページ　https://www.mof.co.jp

正しいのは（ア）と（ウ）です。

（ウ）の「10.226.1.101」は総合教育センターの正しいドメイン（インターネット上の住所）ですが、数字ではわかりにくいですよね。

（イ）はリンクの偽装で、URL に@があった場合、@以下のページにリンクされています。例えば「https://www.xyz.ed.jp@abc.co.jp」とあった場合は abc.co.jp のサイトにリンクします。

似たような方法としては「https://xyz.com.sign-in.info」は「sign-in.info」にリンクしているので

す。

（エ）は正しくは「https://www.mof.go.jp」です（「co.jp」のほうは実在する花火会社の URL です)。似たような URL や「o（オー)」と「0（ゼロ)」、「l（エル)」と「1（数字)」、「rnicrosoft」（mをｒとｎを使って偽装する（「神」と「ネ申」みたいですね)）といった事も見かけます。URL を確認して問題ないと思い込んでしまうと、偽サイトに個人情報やクレジットカード情報を簡単に入力してしまう可能性もあります。

最も効果のある防御策はメールやメッセージなどに記載されている URL をクリックしないことです。何らかのサービスにログインする際は、自分で検索した結果やあらかじめ登録しておいたブックマークから正規のウェブサイトを開きましょう。

■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□■□

おまけ　いまさら聞けない用語解説

今月の用語「Society5.0【ソサイエティー5.0】」

我が国が目指すべき未来社会の姿であり、狩猟社会（Society 1.0)、農耕社会（Society 2.0)、工業社会（Society 3.0)、情報社会（Society 4.0）に続く新たな社会です。第 5 期科学技術基本計画（平成 28 年 1 月 22 日閣議決定）において、「サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会」として Society 5.0 が初めて提唱されました。第 5 期科学技術基本計画で提示した Society 5.0 の概念を具体化し、現実のものとするために、令和 3 年 3 月 26 日に閣議決定された第 6 期科学技術・イノベーション基本計画では、我が国が目指すべき Society 5.0 の未来社会像を「持続可能性と強靭性を備え、国民の安全と安心を確保するとともに、一人ひとりが多様な幸せ（well-being）を実現できる社会」と表現しています。（内閣府ホームページより）

ICT 教育支援センターでは、各校で取り組んでいることや取り組もうとしていることへの支援に加えて、ICT 機器やソフトウエア、ネットワーク等に関する相談支援や学校訪問など随時対応しております。校内研修や研究会において、ICT 教育支援センターを活用していただきたいと思います。お気軽にご相談ください。

山梨県総合教育センター　ICT 教育支援センター

〒406-0801 山梨県笛吹市御坂町成田 1456

TEL:055-262-5508（直）/FAX:055-262-5572

お問い合わせはこちらへ　https://forms.office.com/r/wyuB8BRNg2

バックナンバーはこちら　https://www.ypec.ed.jp/?page_id=6492